

信州大学繊維学部 施設見学会について

真田家ゆかりの城下町上田市は、古から養蚕の産地で養蚕産業が盛んでした。

信州大学繊維学部は1910年（明治43年）に蚕糸に関する日本で最初の高等機関、官立上田蚕糸専門学校として設立されました。

施設をご覧くださいますと、100余年の歴史を誇る繊維学部の歴史と現在の繊維学部及び産学官連携による研究成果の一端に触れていただくことができます。以下に、今回見学いただく施設をご紹介します。

➤ 講堂 国の登録有形文化財 随時見学

信州大学繊維学部の前身、上田蚕糸専門学校の校舎として文部省の柴垣鼎太郎の設計により、昭和4年（1929）に建てられました。木造ゴシック系の建築様式で、特徴は、蚕糸にちなんだ桑・繭・蛾の意匠が内部の各所に付けられていることです。映画やドラマの撮影にも何度も使用されています。いかにも蚕糸専門学校の建物といった佇まいです。今回の年次大会の総会・特別講演会の会場です。



➤ 繊維学部資料館 随時見学

明治44年（1911年）上田蚕糸専門学校の開講時に竣工。平成22年（2010年）春、資料館としてリニューアル、歴史のある貴重な資料を展示公開しています。



➤ 真綿・蚕糸館

（一財）日本真綿協会から、協会事業の一つとして信州大学上田キャンパスへの「真綿と蚕糸関係の恒久的展示施設として申し出を受け、設置されました。

3階建ての館内は、1階に講習室、回廊沿いに絹真綿の作品が展示され、3階に実習室が設けられています。学内及び広く社会との交流を通し

て、真綿・蚕糸製品、紬及び蚕糸に関する次世代の人材育成や文化振興に寄与したいと願っております。是非、ご見学下さい。



➤ 疾走するファイバー展 総合研究棟2階

「疾走するファイバー」展は、繊維学会と日本科学未来館の主催により、平成16年、最先端のファイバーテクノロジーを紹介するために日本科学未来館にて開催されました。その後、平成30年、各繊維関係企業から最先端の繊維製品の提供を受け、リニューアル展示しています。



➤ Fii（ファイバーイノベーションインキュベーション）予約制

企業と教員・学生との産学官連携施設として2011年に開所しました。施設内には企業の研究室を置くことが可能で、最先端科学技術を駆使し、革新的新製品の創出研究を行うための特殊実験装置が用意されています。この施設の見学は予約制（説明役が立ち会う）になっています。予約・お問い合わせはQRコードもしくは

<https://forms.gle/WWyiSzKS65WAqb2JA> よりお願いします。

Fii 施設見学時間（予定）

- 6月21日（金）14：00～
- 6月21日（金）16：00～

